

環境レポート2003



ecolo-friendly
自然との調和を大切に

ユニ株式会社



THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY



ユニーは「顧客のよりよい生活実現のために奉仕する」という経営理念を第一に掲げ、事業活動に取り組んでいます。お客様に「よりよい生活」を実現していただくため、一番関心を持ち、早急に取り組まなくてはならない問題は「環境破壊」を防ぐことだと考えています。

これまでの時代はいわゆる“大量生産、大量消費”の時代で、そこで消費されたエネルギーは地球の資源を枯渇させ、排出された廃棄物により環境を破壊してきました。今、自分達の生活や環境を積極的に見直し、持続可能な循環型社会を構築していかなければ、未来へ豊かな環境を残すことはできません。

これらのことから、“環境保護”を念頭に置いた店づくり、商品提案などを心がけています。あわせて、「少子高齢化」が進む社会のため、誰もが利用しやすい設備やサービスを取り入れています。

ユニーは地域のお客様の生活に密着し、豊かな暮らしのパートナーとして努めております。その一環として、資源の節約と廃棄物削減のために「お買物袋持参運動」「店頭リサイクル運動」など、お客様と一緒に循環型社会形成のための活動を実施しています。また、店舗運営における環境負荷の削減のために、節電・節水システムの導入や廃棄物リサイクル化、容器包装資材の削減を継続的に推進していきます。

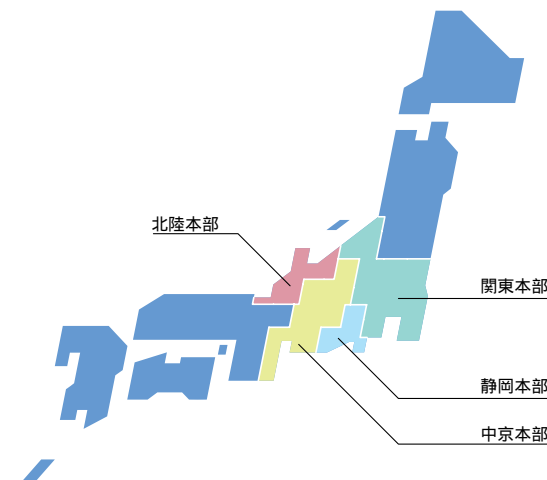
THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY

地球環境を保全することも、まずは身近な環境活動から始めましょう。そして少しずつでも継続することが「未来の子供達に美しい自然を残したい」という私達ユニーの目指すところにつながります。今後とも地域の皆様と快適な暮らしができるよう、環境保護の推進に努めてまいります。

ユニー株式会社 代表取締役社長 佐々木 孝治

会社概要

本 社 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
設 立 昭和25年3月13日
資本金 101億2,925万円(平成15年2月現在)
代表者 佐々木孝治(ささきこうじ)
事業内容 衣・食・住・余暇にわたる総合小売業のチェーンストア
決算期 2月20日(年1回)/東京・名古屋(各1部)の各市場に上場
売上高 7,564億円
店舗数 156店(平成15年5月現在)1都16県下
従業員数 25,095名(平成15年2月現在)
主要取引銀行
UFJ銀行、農林中央金庫、東京三菱銀行、みずほコーポレート
グループ連結売上高
1兆1,799億円(平成15年2月現在)
主なグループ企業
㈱シーアンドエス、サークルケイ・ジャパン(株)、
㈱サンクスアンドアソシエイツ、㈱ユーストア、㈱さが美、
㈱パレモ、㈱モリエ、㈱ラフォックス、㈱ハーツ、
㈱東京インセンス、UNY〔HK〕CO.,LTD、
㈱ユーライフ、㈱ユニーカードサービス、
㈱サン総合メンテナンス、㈱サンリフォーム、㈱ユニコム、
㈱マイサポート、㈱ユニフォード、㈱ユニーサービス、
青木ヶ原高原開発(株)、東名クラウン開発(株)



CONTENTS



ご挨拶 1
環境理念・環境指針 3

お店とお客様とのパートナーシップで
「環境にやさしい生活」を提案します。

インタビュー 人と自然が共存する循環型社会をめざして 5
店舗には環境に配慮した設備や工夫を取り入れています 7
環境配慮商品を販売しています 9
お買物袋持参運動を実施しています 11
リサイクルステーションで再生資源を回収しています 15
環境学習に取り組んでいます 16
お客様とのコミュニケーションを図っています 17

ユニーの取り組みをお伝えします。

廃棄物をできるだけ削減するよう努めています 19
省エネ・省資源に努めています 23
従業員への環境教育を推進しています 24
全てのお客様が利用しやすい店づくりが基本です 25
アピタ新守山店の取り組みを紹介します 27

これからもお客様と一緒に。
笑顔の明日を。

社会貢献に努めています 29

環境理念

地球規模での環境破壊が深刻化している今日、
環境に優しい循環型社会実現のために、
ユニーは企業活動を通じて貢献します。

あなたと一緒に笑顔でチャレンジ



自然との調和を大切に
「未来の子供達に美しい自然を残したい」
ユニーは環境に優しい生活をエコフレ
ンドリーマークと一緒に進めていきます。

環境方針

ユニー株式会社は

1. 環境負荷の少ない、安心安全な商品を提供します。
2. 限りある資源を大切に、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物の減量・リサイクルを推進し、環境の汚染予防に努めます。
3. 全社・全従業員が環境問題に関心を持ち、「環境活動」「環境教育」を通じて、継続的な改善に努めます。
4. 環境保全に関する法律、ユニーの同意したその他の要求事項を遵守し、お客様ならびに一般市民・行政機関ともパートナーシップをとり、「人と環境に優しい社会」実現のために努力します。
5. この環境方針は、広く一般に開示します。

2003年7月5日

お店とお客様とのパートナーシップで
「環境にやさしい生活」を提案します。



人と自然が共存する循環型社会をめざして	5
店舗には環境に配慮した設備や工夫を取り入れています	7
環境配慮商品を販売しています	9
お買物袋持参運動を実施しています	11
リサイクルステーションで再生資源を回収しています	15
環境学習に取り組んでいます	16
お客様とのコミュニケーションを図っています	17



インタビュー

人と自然が共存する循環型社会をめざして

ユニー株式会社は販売活動を通じて、お客様とともに環境への取り組みにチャレンジしています。環境に配慮した新店舗の建設、ゴミの分別回収やリサイクル、エコ商品の販売などを進めます。

お客様に愛されるユニーであるために

— 本日はユニーの環境への取り組みを統括している磯見洋取締役業務本部長に、環境活動についてお話を伺います。

磯見「ユニー本部がある愛知県では、2005年に環境万博ともいわれる愛知万博が開催されることもあり、地域の皆様の環境問題への意識は非常に高いですね。再生資源を原料とした商品、分別回収したゴミのリサイクル方法などへの質問や意見がたくさん寄せられています。そんな中、ユニーがお客様に愛され支持され続けるためには、日ごろから環境活動に真摯に取り組む姿勢が大切だと思います」

— レジ袋を減らすためにマイバッグキャンペーンを行ったり、リサイクルボックスを設置したりと、様々な活動を進めていますよね。

磯見「レジ袋の削減活動は1989年から始めました。リサイクルボックスは10年以上前から置いてあります。根気よく続けることが大切です。今まではあまりお客様にPRできていませんでしたが、この報告書のように様々な形での情報公開は必要ですね」

— 牛乳パックやアルミ缶などを回収するリサイクルボックスや、可燃ゴミと不

燃ゴミに分けた分別ゴミ箱もすっかり浸透しました。磯見「ゴミには、仕入れ時に発生するダンボールなど

の"入ってくるゴミ"と、生ゴミや家電製品の梱包用発泡スチロール、食品トレイなどの"出るゴミ"、お客様が"お買い上げ後に出るゴミ"の3種類があります。入ってくるゴミについては、何度でも利用できる通い箱を用い、ゴミの削減に努めます。出るゴミについては、その種類によって再資源化の方法が違います。切りくずなどの生ゴミは肥料として再利用し、発泡スチロールはプラスチックチップにして再資源化を図ります。食品トレイはフラワーポットやベンチの原料として再生します。お買い上げ後に出るゴミは、リサイクルボックスなどで回収後、牛乳パックはトイレトーパーに再生、アルミ缶はアルミの製造過程に必要な電気の節約に役立つため再利用します」



取締役 業務本部長
磯見 洋

昭和44年 当社入社
昭和51年 名港店店長
昭和56年 中京本部 本部長室長
平成7年 取締役開発本部長
平成15年 取締役業務本部長
現在にいたる。

新しい店舗づくりにもきめ細やかな配慮を

— 店舗を建てる時に、環境に配慮していることを教えてください。

磯見「新店舗ができる時、一番に周辺環境に及ぼす影響を考えます。特に問題となるのが人の声や車の音などの騒音です。音は風に乗って伝わりますから、周辺の住宅地域に影響が少ないよう、店舗の位置や向きなどを決めます」

— 店舗では朝早くから搬入のトラックが入り込みますから、特に早朝の騒音には気を遣いますね。

磯見「そういった意味でも、バックヤードの位置は重要です。そのほか、駐車場はお客様に使いやすいゆとりを持たせたスペースをとり、スロープの高さを計算して、お客様の車が入り出すときの音を抑える工夫などもしています。アピタ長久手店の建設時には、緑地帯による遮音効果を狙い、店舗に隣接して公園を設けました」

— 音のほかに、店舗で出るゴミへの対策についてはどうですか。

磯見「まず、働く人が当たり前のことを当たり前にできる環境づくりということを考

えています。バックヤードの作業スペースは広く取り、ダンボールなどを運ぶ動線はできるだけ短くしてあります。生ゴミは臭いを抑えるため冷蔵して作業を進めていますし、水での掃除がしやすいように床には少し傾斜をつけてあります」

— 店頭には環境に配慮した商品がたくさん並んでいますね。

磯見「省エネの電化製品、再生資源が原料のトイレトーパー、大気や水、土を汚さない原料で作られた洗剤などです。また、環境配慮商品のコーナーも設置しています。お客様へ環境に配慮した商品を提供することで、少しでも自然環境保護に貢献できたらと思います」

— では最後に今期の取り組みを教えてください。

磯見「環境活動は永続的なものです。継続的に取り組んでいくために、来期は環境マネジメントシステム、ISO14001の認証取得を目指します。『身近なところから、そして、ずっと続けて』が環境活動の精神です」



「環境にやさしい生活」を提案します。

環境会議

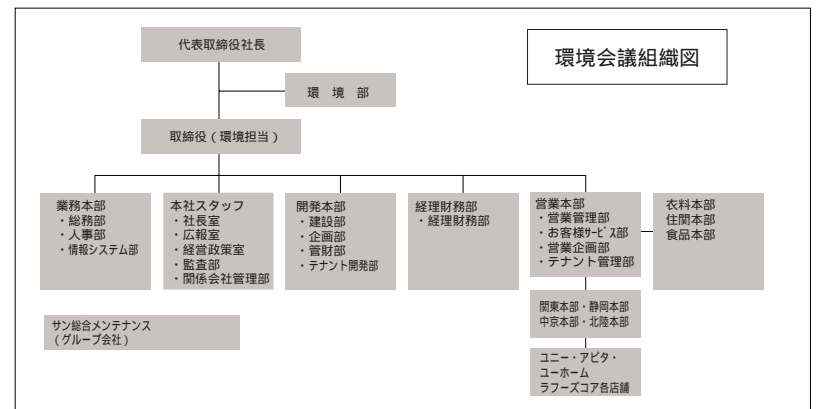
ユニーでは「環境指針」に基づき、生活者に一番近いところにある企業として、環境負荷をできるだけ少なく省エネ・省資源で運営できる店作り、及び環境に配慮した商品の販売、サービスの提供に取り組んでいます。

環境会議には、各本部の担当部署から代表者が集まり、

- ・店舗から排出される廃棄物の削減
- ・環境にやさしい商品の販売拡大
- ・省エネ・省資源への取り組み
- ・地域とのコミュニケーション

などのテーマについて検討し、それぞれの役割においてより有効な活動を図るよう努めています。


より少ない資源・エネルギーでより多くのお客様満足を実現するために、環境会議では継続的な改善を進めていきます。



店舗には環境に配慮した設備や工夫を取り入れています


“環境に配慮したやさしい店づくり”を目指しているユニーの店内では、ゴミ減量、リサイクルや省エネを推進するため、さまざまな設備を用意するとともに、販売方法にも工夫をしています。特にお客様とともに進めるゴミ減量に関しては、お客様が利用しやすいようにリサイクルステーションや、各所に分別ゴミ箱を設置しています。

P.20 リサイクル処理機



生ゴミは肥料、発泡スチロールはプラスチックチップなど、再生資源としてリサイクルを行っています。

P.20 廃棄物庫、分別




商品の仕入れ時や製造過程で出た廃棄物を、リサイクル資源として活用できるように分別しています。

P.23 トイレ（節水）



流量を調整することにより、節水に努めています。

P.15 リサイクルステーション



牛乳パックをはじめ、アルミ缶、トレイ等お客様がお買い上げ後にゴミになるものを回収し、リサイクルしています。

P.11 サービスカウンター
(簡易包装・スタンプカードとお買物割引券との交換)



サービスカウンターでは、「お買物袋スタンプカード」と割引券の交換をしています。また、シンプルな包装サービスを行っています。

野菜・果物バラ売り



お客様に、適正な数量を購入していただくために商品によってバラ売りでご提供しています。

ナイトカバー（節電） **P.23**



省エネのため、閉店後には冷凍冷蔵コーナーにナイトカバーをつけ、消費電力の削減に努めています。



環境配慮商品 **P.9**




資源リサイクル、環境を汚さない商品、省エネ・省資源商品など環境保護を考えた商品を揃えています。

分別ゴミ箱



店内各所に「燃やせるゴミ」や「燃やせないゴミ」など分別したゴミ箱を置き、リサイクル用にゴミを回収しています。

レジ（マイバッグキャンペーン、スタンプカード） **P.11**



お買物袋を持参して、レジ袋を辞退していただくと、1精算に1個スタンプを押しています。

「環境にやさしい生活」を提案します。

環境配慮商品を販売しています

普段使っているものを「環境にやさしい」という視点でお客にご購入いただくことが、「自然を守る」ことにつながります。ユニーではムダを省いたものや環境汚染防止に役立つものなど、環境に配慮した商品を多く販売しています。

資源リサイクル商品

使用後にリサイクルできる商品や、再生資源からできた商品は石油や森林資源など貴重な資源の節約につながります。



古紙リサイクル商品
牛乳パックや使用済みのOA紙
を使っています。



リサイクルアルミガード、
資源再利用型文房具
アルミ缶や使用済みプラス
チックを使っています。



カートリッジや本体を回収し
て再利用しています。

e-price e-priceの「e」とは、誰もが(everyone) 日常(everyday)よく使っている、さまざまな基本商品(everything)を、お買い得価格(economy)で提供するという主旨から名付けました。e-price商品とは、「良品廉価」の実現を目指したユニーグループのオリジナル商品です。



環境を汚さない商品

汚染防止に役立つ商品には大気・水・土壌を汚さない原料でできている商品や、汚水や排気を出さないための商品があります。



環境を汚さない商品
非塩ビラップ、
天然素材せっけん、洗剤



河川や土壌の汚染を防止する商品
水切りネット
天ぷら油吸着剤



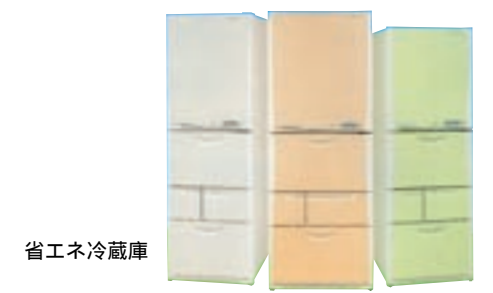
排気を出さない商品
排気循環掃除機



フロンを使用しない商品
ノンフロン冷蔵庫

省エネ・省資源商品

使用するエネルギーを抑えた商品、容器包装などのムダを省いた商品、長期間使用できる商品は、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に貢献します。



省エネ冷蔵庫



容器詰め替え商品

トピックス 「環境配慮商品」は売り場でもお客様に見やすいように工夫しています

ユニーでは取扱い商品の中で、より環境にやさしい商品をお客様に紹介しています。それぞれの商品がどのように地球にやさしいかを、表示カードでわかりやすく説明しています。

環境に配慮した商品を集めたアビタ
東海荒尾店文房具売り場です。



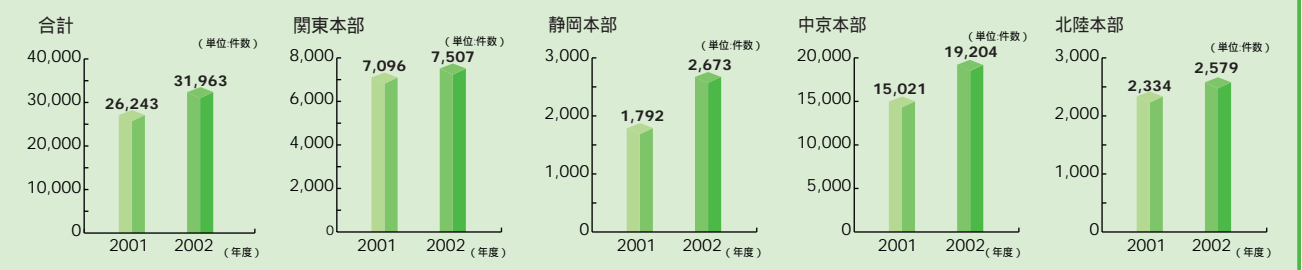
表示カード

エコの仕組みを説明した表示カードは見やすく、読みやすい表示にしています。お客様が商品の特性を理解された上で、環境にやさしい商品を選びやすいよう配慮しています。



トピックス 家電リサイクルへの取り組み

家電リサイクル法が、2001年5月から施行されました。ユニーでも各店に収集庫を設置し、消費者の皆様からリサイクル家電品をお預かりして、リサイクル指定工場に運んでいます。



「環境にやさしい生活」を提案します。

お買物袋持参運動を実施しています

～マイバッグキャンペーン～

ユニーでは「地球環境の保全」「ゴミ減量」のために、食品取扱い店舗全店でお買物袋持参運動を実施しています。お客様と一緒に環境について考え、「環境にやさしいお買い物」をしていただく運動として、1989年から始めました。



マイバッグキャンペーンとは

ユニーでは、毎日のお買い物に「お買物袋（マイバッグ）」を持参していただきたいと考えています。そうすることで、お店ではレジ袋が減り、ご家庭でもゴミが減ります。

レジ精算時のお客様への対応

食品関連レジでお買物袋ご持参のお客様がレジ袋を辞退されたときに、1回の精算につき1個のスタンプを「お買物袋スタンプカード」に押します。スタンプが20個たまったら、お店のサービスカウンターで100円分の「お買物割引券」と交換しています。



カゴに「レジ袋いりませんカード」を入れてください。



精算時にレジ担当者にスタンプカードをお渡しください。

スタンプカード



カードにスタンプを押してお返しします。



精算終了後、ご持参のマイバッグに購入商品を入れてください。外側の透明ポケットにはレシートを入れていただけます。

トピックス

レジ袋いりませんカード

カードはレジ付近に設置し、自由に取っていただけるようにしています。多くのお客様のご協力によってレジ袋を削減しています。



ノー・レジ袋の日

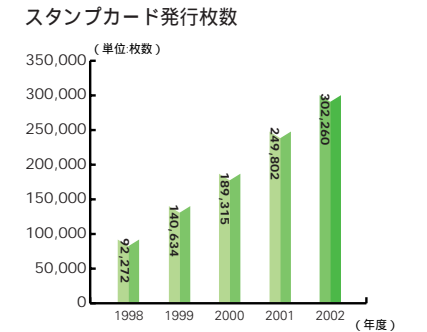
ユニーでは毎月5日を「ノー・レジ袋の日」としています。レジ担当者が毎月1日～5日胸にバッジを付け、環境への配慮をアピールしています。

毎年参加していただくお客様が増えています

お買物袋スタンプカードの回収枚数が年々増えています。お客様が環境保全に関心を持って、身近な環境活動にも参加していただいている現れだと考えます。地域差が大きい傾向が見られるので、今後の課題は、もっとたくさんのお客様にこの運動を知って参加していただくよう、店舗での取り組みを強化することです。



スタンプカード



持参運動のはじまり

ユニーのお買物袋持参運動は、1989年に愛知県のサンテラス一宮店からスタートしました。この時点では、一度使ったレジ袋を再び使っていただく運動でした。現在も使用している「お買物袋スタンプカード」は1991年に中京エリアの店舗で発行を始めました。



装い新たにマイバッグキャンペーン

2001年10月のリサイクル月間から、ユニーではオリジナルショッピングバッグを差し上げるマイバッグキャンペーンをスタートしました。これはお客様に「どうしてお買物袋持参運動に参加しないのですか」とお聞きしたところ「レジ袋のかわりになるショッピングバッグをもっていないから」という答えが多かったので、「ではレジ袋のかわりに使えるお買物袋をお渡しして、使っていただこう」と、考えたからです。そこでお買物割引券のかわりにショッピングバッグと交換するキャンペーンを年2回（6月の環境月間と10月のリサイクル月間）実施することにしました。



お買物袋持参運動の説明を受ける従業員(1989.11 サンテラス一宮店)



トピックス 三重県「レジ袋ゼロ運動」への取り組み



白い買物袋に絵を描いて、自分だけのお買物袋が完成

三重環境県民会議で、2000年8月から「レジ袋ゼロ運動」の実施が決定され、翌2001年10月から四日市市などで「レジ袋のない運動会」がスタートしました。ユニーもこの運動にいち早く参加し、環境保全を考えてきました。

「環境にやさしい生活」を提案します。

レジ袋がわりのショッピングバッグをつくりました

ユニーでお買い物をしていただく、その量に応じてレジ袋を差し上げていますが、できるだけお客様にお買物袋を持参していただき、「環境にやさしいお買い物」ができるよう“何度も使えるレジ袋”という発想から、オリジナルショッピングバッグを作りました。濡れ物を入れても大丈夫な防水加工をほどこしたシンプルで使いやすいデザインです。

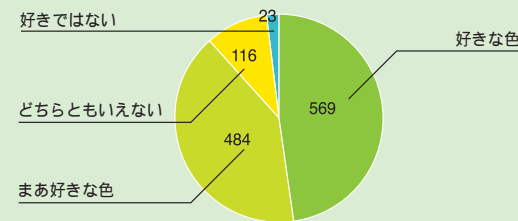
2002年 秋



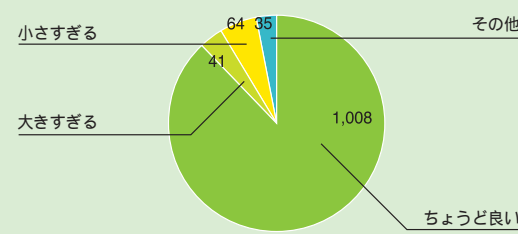
キャンペーンも3回目になり、よりお客様のご意見が反映されたものになりました。色は秋色で汚れが目立たず、持ち手が丈夫で持ちやすい形状、デザインはシンプルで商品を入れやすいものになりました。また、通勤途中で立ち寄られるお客様からのご要望で、小さくたためて幅を取らないタイプもつくり、好評でした。

オリジナルショッピングバッグを使っていたお客様には、アンケートでご意見やご要望をいただきました。より多くのお客様に使っていただけるように、工夫を重ねています。

Q. 色はいかがでしたか？ (単位：人)



Q. 大きさはいかがでしたか？ (単位：人)



上記は2002年秋に実施したアンケート結果の一部です。

2001年



キャンペーンの第1回目は、お客様がどんなお買物袋を要望されるのかわからず、大きさを3種類用意し、デザインの異なるものを2色ずつつくりました。店内のポスターだけではなく、チラシ広告にも掲載し、たくさんのお客様にアピールしました。



2002年 春



前回のキャンペーンに参加していただいたお客様からのアンケートを参考に、春らしいカラフルな小型のお買物袋をつくりました。毎日お買い物されるお客様や、お年を召した方はあまり大きなサイズではないものをご要望でした。



環境にやさしい包装

お客様に購入していただいた商品の包装の仕方やレジ袋にも工夫をし、無駄なゴミが出ないように努めています。特に年々機能性を保ちながら薄くしていったレジ袋は原油使用量の削減につながっています。

環境にやさしい包装

レジ袋の原料の研究開発が進み、薄くて強い袋が年々誕生しています。開発がスタートした1999年から比べると、実に131ほどのゴミ削減につながっています。今後もますます環境にやさしいレジ袋にしていく予定です。

ユーホームのレジ袋は、ペットボトル再生プラスチックで作られています。



1999年

レジ袋の厚みを約10%削減した軽量タイプを導入しました。原料の開発研究により、強度の確認をしながら重量削減に取り組みました。



2001年

レジ袋各サイズの容量の再設計を行い、レジでの複数使用を減らし、削減に取り組みました。



S、M、Lサイズの3通りに集約しました。

2002年

レジ袋の再設計を全店で行いました。Lサイズの袋が使われたため、レジ袋の使用数量は横這いでしたが、一枚当たりの重量が増加する結果になりました。

レジ袋使用量・重量推移

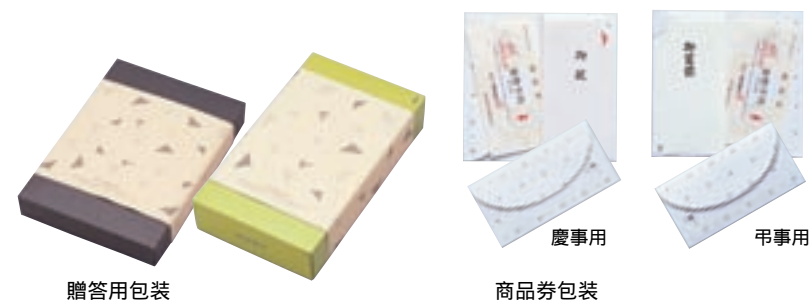
(単位：t)

年度	1999	2000	2001	2002
実績	2,278	2,507	2,265	2,403

2002年度の環境月間(5・6月)リサイクル月間(10・11月)に実施したマイバッグキャンペーンで、レジ袋192万枚17.7tの削減ができました。

簡易包装の推進

環境保全を目的とした「ゴミ削減」のため、お中元・お歳暮をはじめとする贈答品、商品券などの包装を簡易化しています。



トピックス

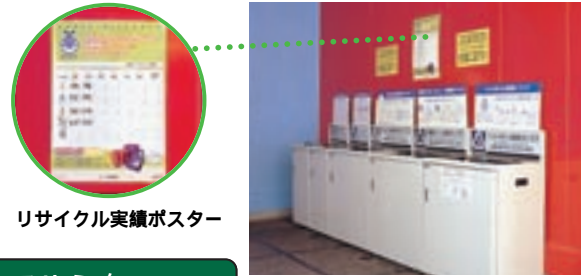
レジ袋で交通安全に協力しています



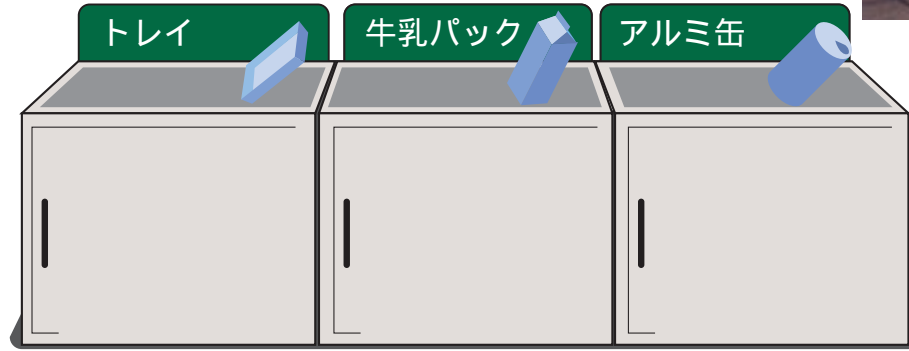
交通安全運動に合わせて、オリジナルのレジ袋を作りました。

リサイクルステーションで再生資源を回収しています

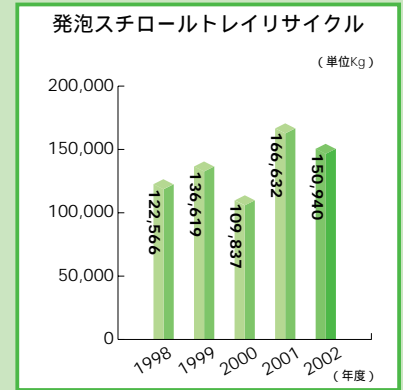
店内に専用の回収ボックスを設け、お客様が商品・食品をお買い上げいただいた後にゴミになるトレイ・牛乳パック・空きビン・ペットボトル・アルミ缶等を回収しています。回収した再生資源は、また新しい製品になって生まれ変わります。また、月毎のリサイクル実施状況をポスターにまとめて掲示しています。



リサイクル実績ポスター



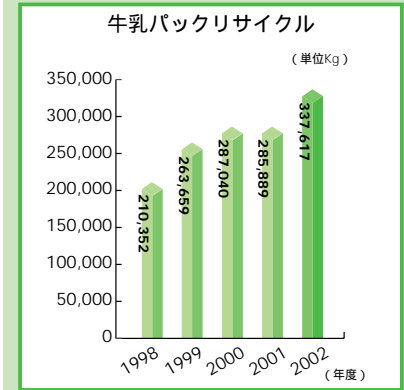
生鮮食品などに使われる発泡スチロールトレイは工場ではフラワーポットやベンチの原料に再生しています。



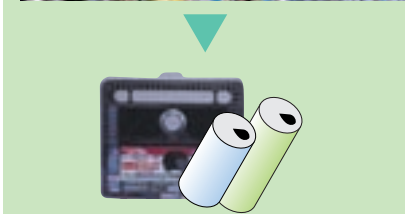
年度	98	99	00	01	02
参加店舗	115	130	133	140	139
食品取扱店舗	132	133	133	145	139
参加率(%)	87.1	97.7	100	96.6	100



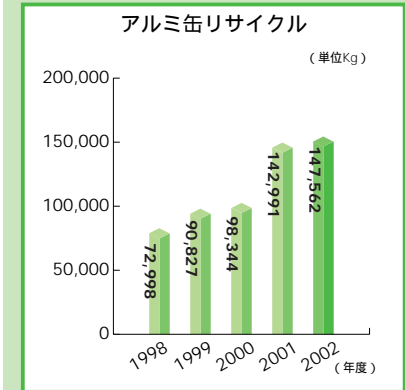
他の古紙とともにユニーの包装紙・袋に再生しています。



年度	98	99	00	01	02
参加店舗	124	127	129	138	138
食品取扱店舗	132	133	133	145	139
参加率(%)	93.9	95.5	97.0	95.2	99.3



アルミの製造には膨大な電気を必要としますが、アルミ缶の再利用によってエネルギーが節約できます。



年度	98	99	00	01	02
参加店舗	95	97	90	102	102
食品取扱店舗	132	133	133	145	139
参加率(%)	72.0	73.0	67.7	70.3	73.4

環境学習に取り組んでいます

地域のお子様を対象に、環境学習会を定期的で開催しています。ボランティア団体の皆様が主催される場合と、ユニー主催で行う場合の2つのケースがあります。内容は紙芝居、リサイクル工作などさまざま、いずれも楽しみながら学べると好評をいただいています。

エコフレンズ エコロお店探検隊 - アピタ新守山店 -

定期的地域のお子様をユニーへお招きし、ゴミがどのように運ばれるか、どのようにリサイクルされるのかを学んでもらっています。資源ゴミを使用したリサイクル工作なども体験でき、楽しみながら環境学習ができると好評です。参加したお子様たちは全員、エコフレンズに認定しています。

家から持っていく資源ゴミが、リサイクルされて別のものになることが驚きでした。



ゴミの行方

野菜や果物のバラ売り、マイバッグキャンペーンなどで、ムダなゴミが出ないことがわかりました。



商品探検



エコフレンズに認定

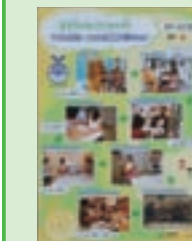
これからも環境にやさしいお買い物をしてください。



リサイクル工作

牛乳パックや使い終わった乾電池でリサイクル工作をしました。

エコロお店探検隊壁新聞



環境学習の様子はインターネットや店内の壁新聞で報告しています。

エコパルなごや

名古屋市環境学習センター(エコパルなごや)が名古屋市内の6店舗でイベントを開催しました。

小さなお子様にも興味を持っていただけるような紙芝居やクイズ、ぬりえなどを通して、「地球温暖化」「河川や海の汚染問題」などを学習しました。各店舗約200名の参加で大変好評でした。



四日市市環境学習

アピタ桑名店を会場に、四日市市とNPOの協力により、「環境にやさしいお買い物」について学習しました。ゴミをできるだけ少なくするためには、どんな商品を購入したらよいか、環境を汚さないためには、どんなことに気をつけてお買物をするとよいかを紙芝居や実際に買い物をして学びました。



「環境にやさしい生活」を提案します。

お客様とのコミュニケーションを図っています

よりよい店づくりを進めるため、お客様と意見・情報の交換を積極的に行っています。投書箱からご指摘・ご要望をいただいたり、ホームページから環境についての取り組みを報告するなど、これからもお客様とのコミュニケーションを大切にしていきます。

ホームページからの環境情報発信

当社のホームページで、環境保全についての取り組みを紹介しています。「エコショッピング」「環境レポート」「エコロ新聞」などがご覧いただけます。また、メールマガジン「エコロNEWS」も作成しており、環境保全についての有益な情報を多くの皆様へ発信しています。いずれも専門用語などを使用せず、どなたでも簡単にお読みいただける内容になっています。



<http://www.uny.co.jp/eco/>

各店舗に環境壁新聞を掲示

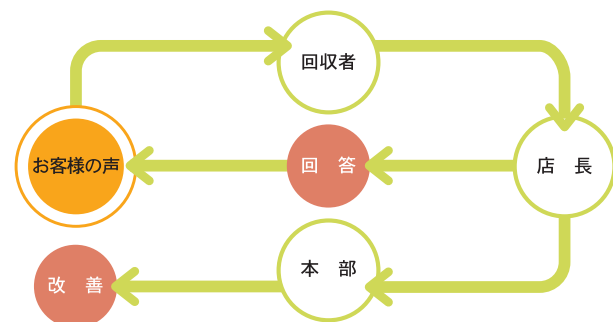
ユニーの店内には、環境問題についてわかりやすく紹介した「エコロ壁新聞」を掲示しています。エコロフレンズが、お客様の環境についての疑問に答える“ecolo相談室”や、店内で販売中のオススメ環境グッズなどを載せています。インターネットからもご覧いただけるように、ユニーのホームページでも掲載しています。



お客様の声のポスト

ユニー・アビタ・ユーホームの全店で「お客様の声のポスト」を設置しています。

お客様からいただいたご指摘・ご要望などは、担当者を通じて店長が確認し、すぐに対応します。また、必要に応じて本部で問題を取り上げ、会社全体の改善点として指導にあたります。



ユニーの取り組みをお伝えします。



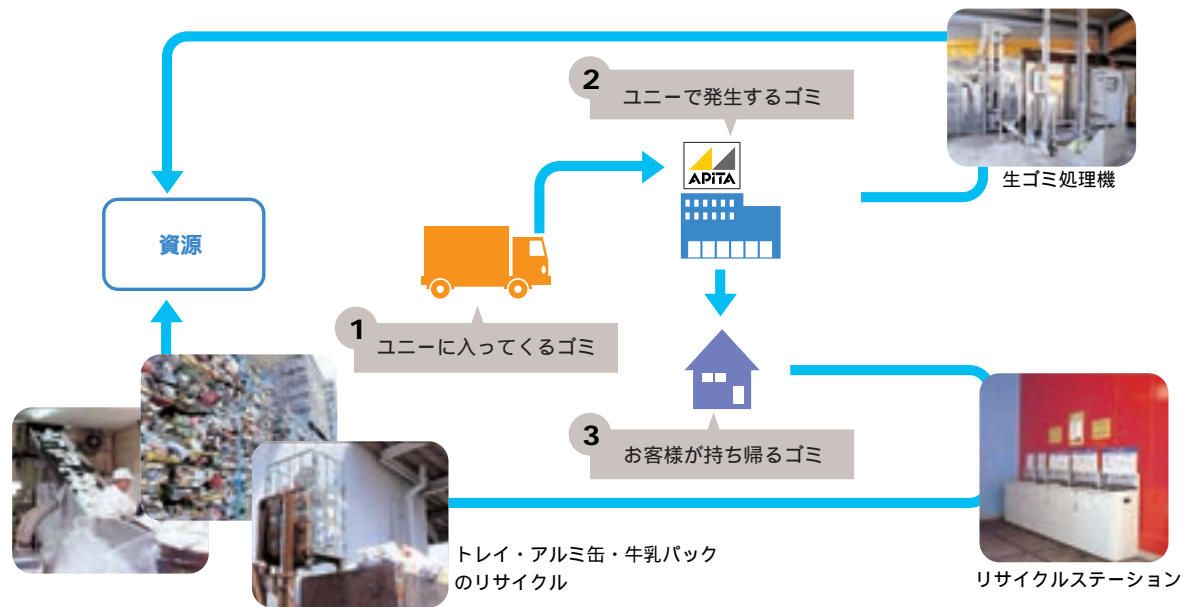
- 廃棄物をできるだけ削減するよう努めています 19
- 省エネ・省資源に努めています 23
- 従業員への環境教育を推進しています 24
- 全てのお客様が利用しやすい店づくりが基本です 25
- アビタ新守山店の取り組みを紹介します 27

廃棄物をできるだけ削減するよう努めています

廃棄物の排出をできるだけ削減するために「廃棄物を店舗へ持ち込まない」、「店舗で発生する廃棄物をリサイクルする」ことに取り組んでいます。

また、食品トレイや飲料の缶、牛乳パックなど、お客様が商品としてお持ち帰りになった後で発生する「ゴミ」を再生資源としてリサイクルボックスで回収し、原料として再利用するリサイクルシステムをお客様と一緒に実施しています。

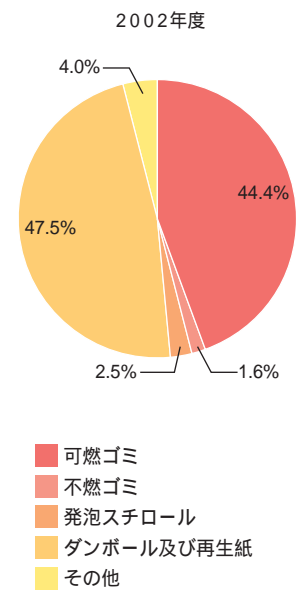
廃棄物削減のためのシステム



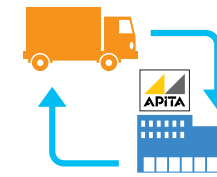
年間廃棄物排出量

(単位: kg)

		2001	2002
可燃ゴミ	焼却		
	一般可燃ゴミ	11,144,530	11,012,710
	雑紙	13,358	13,200
	ビニール(食品系)	146,940	145,202
	小計	11,304,828	11,171,112
	焼却		
	生ゴミ	19,688,988	19,456,102
	魚のあら	5,691,535	5,624,214
	てんかす	609,705	602,493
	廃食用油	—	905,154
小計	25,990,228	26,587,963	
合計	37,295,056	37,759,075	
不燃ゴミ	ビン	545,777	539,321
	缶	827,252	817,467
	合計	1,373,029	1,356,788
発泡スチロール	発泡スチロール	2,177,382	2,151,627
ダンボール及び再生紙	ダンボール	40,184,238	39,708,928
	紙類	618,292	610,979
	合計	40,802,530	40,319,907
その他	プラスチック	582,035	575,150
	ビニール(衣住系)	2,285,201	2,258,171
	PPバンド	67,745	66,944
	ペットボトル	157,436	155,573
	陶器、ガラス	105,911	104,658
	金属カス	135,490	133,887
	廃家電	20,037	19,800
	粗大ゴミ	25,762	25,457
	産業廃棄物	29,579	29,229
	合計	3,409,196	3,368,869
	総排出量	85,057,193	84,956,266



1 ユニーに入ってくるゴミ

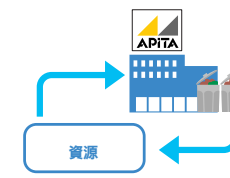


商品搬入時に商品を入れてきたダンボール箱や発泡スチロールの容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。



通い箱(オリコン)

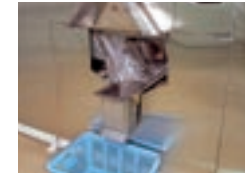
2 ユニーで発生するゴミ



店の中での販売活動や商品加工・サービスから発生する廃棄物をリサイクル資源にする取り組みをしています。

食品廃棄物の再資源化

野菜や鮮魚・精肉などを調理して販売するために、食品廃棄物が発生します。また、売れ残りや飲食の食べ残しも食品廃棄物になります。食品廃棄物を食品リサイクル法に従って再生利用しています。(詳細はP21~22参照)



発泡スチロールも再資源化

食品トレイ・発泡スチロールなどは店舗で1次処理して、リサイクル工場に持ち込み、再生資源として活用しています。



トレイはフラワーポットに

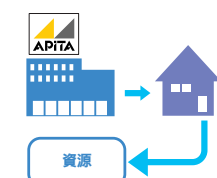
生鮮食品などに使われる発泡スチロールトレイは工場でフラワーポットやベンチの原料に再生しています。



ダンボールは100%リサイクル

使用済みのダンボールは古紙業者に委託し、100%再生資源として有効活用されています。

3 お客様が持ち帰るゴミ



商品と一緒に持ち帰られる包装紙やレジ袋も、使用済みになればゴミになります。できるだけ家庭での廃棄物の発生が抑制されるように、包装資材の簡易化やお買物袋持参運動を実施しています。また、牛乳パック(再生紙の原料)やアルミ缶(再生アルミの原料)、食品トレイ(再生プラスチックの原料)は、各店舗にリサイクルボックスを設置し、ゴミの再生利用をお客様と一緒に取り組んでいます。



ユニーの取り組みをお伝えします。

生ゴミリサイクルに取り組んでいます

食品の売れ残りや食べ残し、または食品の加工や調理過程において大量に食品廃棄物が発生しています。食品廃棄物の発生抑制と減量化により最終的に処分される量を削減するとともに飼料や肥料などの原材料として再生利用に取り組んでいます。

ユニーの生ゴミリサイクルの方針

1. 安全であり環境負荷が少ないこと。(大気汚染・水質汚染を予防し、省エネであること)
 2. 再生資源として有効であること。(有価資源になり再廃棄しない)
 3. 経費が抑えられること。(公共処理料金との比較)
 4. 継続できる方法であること。(リサイクルルートが確立していること)
- これらの条件から外れることなく、できるだけ地域の中で循環するように努めています。

各地での取り組み～リサイクルへのチャレンジ～

食品廃棄物の中で、魚のアラ(鮮魚の調理残渣)や植物性廃油(揚げ物などに使った廃油)は飼料や肥料の原料、石鹸などの材料として、製造業者に有価で提供しています。

生鮮食品の調理残渣(野菜や果物、鮮魚生肉の調理クズ)や売れ残り商品、飲食の食べ残しなどを、店舗の処理機で1次処理し、さらに堆肥や土壌改良剤にして、農業生産者と一緒に再生資源のリサイクルの環づくりにチャレンジしています。

開始年	実施内容	年間処理量
2000年	アピタ新守山店(名古屋市)に熱乾燥型処理機を導入	140t
2002年	アピタ岡崎北店(岡崎市)に真空乾燥型処理機を導入	170t
	アピタ東海荒尾店(愛知県東海市)に真空乾燥型処理機を導入	200t



トピックス

食品リサイクル法 (食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)

食品廃棄物は食品の製造過程で発生する動植物性残渣や、食品の流過程や消費段階で発生する売れ残りや食べ残しなどのことで、年間約2000万tが排出されています。それらのうち肥料飼料などに有効利用されるものを「食品循環資源」と呼びます。

食品リサイクル法では、「循環型社会形成推進基本法」に定める基本原則に基づき食品循環資源の再生利用等の手法に関する優先順位を定めています。

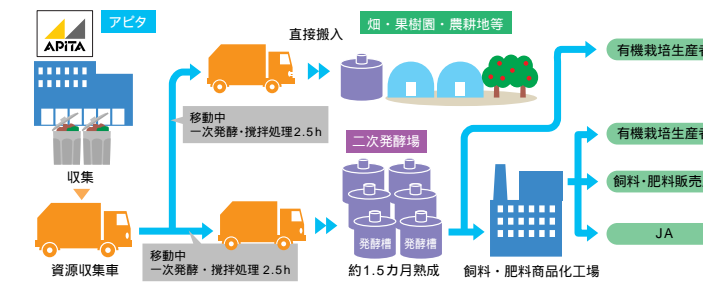
1. 生産、流通、消費の各段階で食品廃棄物そのものの発生を抑える「発生抑制」を行う。
2. 再資源化できるものは肥料や飼料などへの「再生利用」を行う。
3. 廃棄されるものは「脱水・乾燥」などで「減量」して処分しやすいようにする。

食品廃棄物を排出している事業者のうち、年間100tを超すところには、平成18年までに再生利用等の実施率を20%以上にすることが義務づけられています。

地域のリサイクルに参加しています

調理残渣は食品リサイクル指定業者に再生資源として提供され、堆肥の材料として利用されています。

アピタ福井店、アピタ福井大和田店で排出される魚のアラと野菜クズは熱処理機搭載のトラックで1次処理し、さらに堆肥場で2次発酵させ、農業生産者に利用されています。



開始年	実施内容	年間処理量
2000年	アピタ福井店(福井市)でリサイクルに参加	30t
2001年	アピタ福井大和田店(福井市)リサイクルに参加	55t

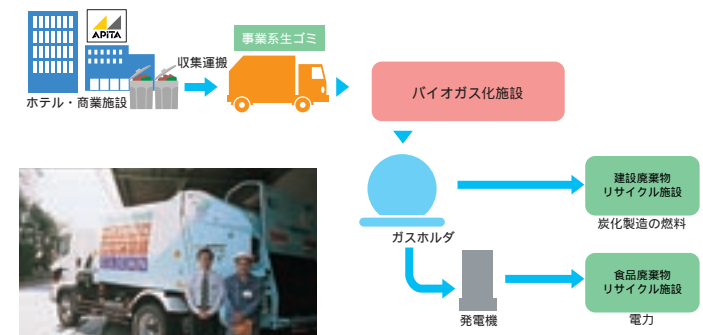


アピタ佐原東店がリサイクル事業ESIに提供した野菜調理残渣は銚子市の専用農場で堆肥として利用されています。

開始年	実施内容	年間処理量
2002年	アピタ佐原東店(茨城県)でESIに参加	60t

エコタウンに参加しています

農林水産省の「食品リサイクル先進モデル実証事業」である富山エコタウンの食品廃棄物を材料にしたメタン発酵処理施設に、富山市にあるユニー・アピタ全店では野菜調理クズを提供し、バイオガス化事業に参加しています。



開始年	実施店舗	年間処理量(予定)
2003年	アピタ富山店・アピタ富山東店 ユニー富山駅前店・アピタ富山食品館	490t



廃棄物の計量調査

廃棄物を削減するためには、廃棄物の内容や量を把握しなければなりません。そこでユニーでは、2000年から毎年6月の環境月間に、店舗での廃棄物計量調査を実施しています。リサイクル資源に活用することを考慮して、19分類に分別し、部署やテナントなどの排出場所ごとに計量しています。

その結果、ダンボールおよび紙類・発泡スチロールなどの商品搬入時に発生する廃棄物が多いことがわかりました。

また、食品リサイクル法の対象となる、食品廃棄物が全体の30%であることが確認できました。これらの廃棄物に適正に処理をしリサイクル資源にすることで、廃棄に出す量がかなり削減できる見込みです。



食品廃棄物の再生利用状況(2001.2.21~2002.2.20)

	発生量	リサイクル量	リサイクル率
生ゴミ	19,456t	655t	3.4%
魚のアラ	5,624t	3,656t	65.0%
廃油	905t	743t	82.1%
てんかす	602t	—	0.0%
合計	26,587t	5,054t	19.0%

富山は2003年からの導入となっているため上記の表には含まれておりません。

省エネ・省資源に努めています

リサイクルボックスで回収した再生紙などで作った省資源商品を、店内で使用しています。使用していない場所の電気を消灯したり、冷凍冷蔵コーナーに節電用のナイトカバーを付けるなど、日頃の活動の中で省エネに努めています。

文房具・名刺・トイレットペーパー・チラシなどには再生商品を使用しています。特にトイレットペーパーには、お客様がリサイクルボックスにお持ちいただいた、牛乳パックを含んだ再生紙が使用されています。

事務所、社内では使用していない場所での消灯を義務づけています。

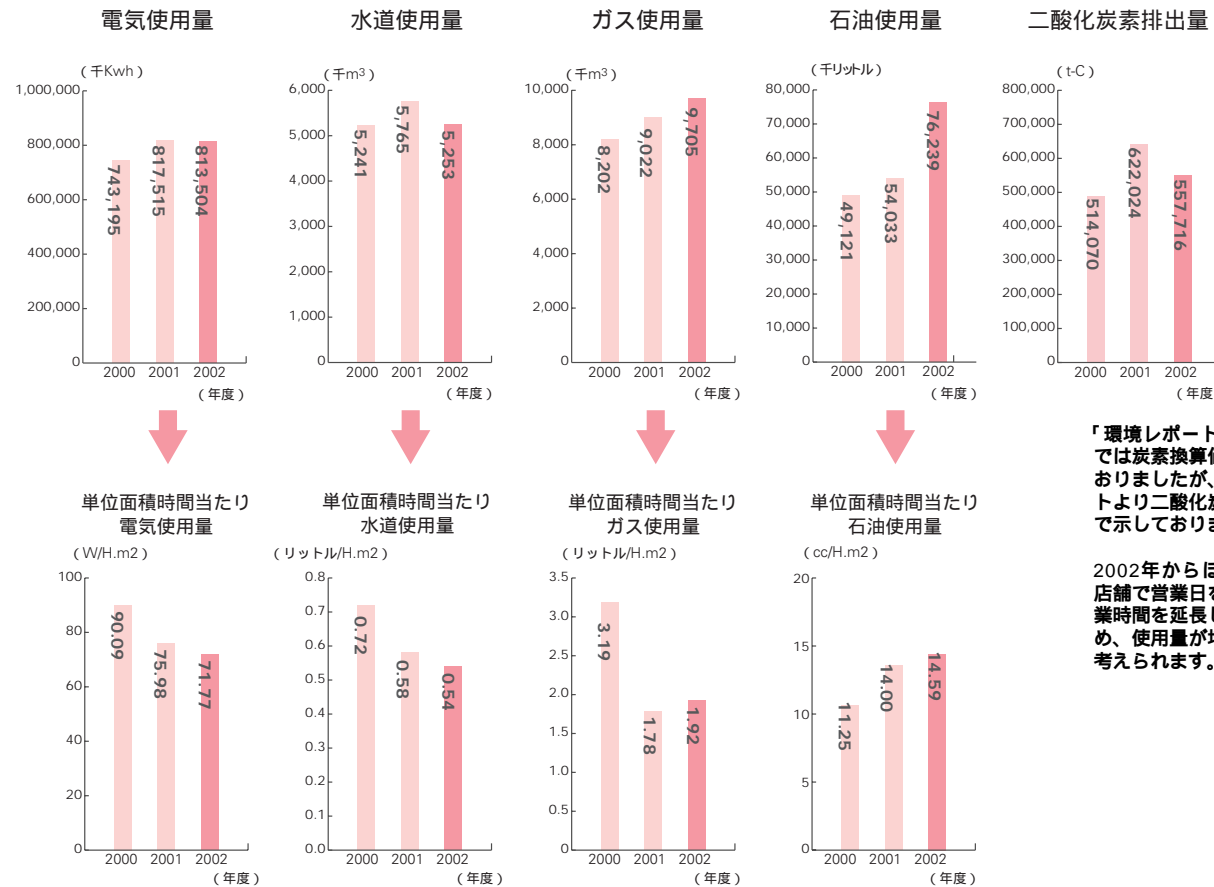
閉店後、省エネルギーのため、冷凍冷蔵コーナーにはナイトカバーをつけ消費電力の削減に努めています。

容器包装リサイクル法への対応

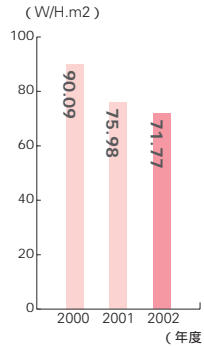
2000年度、容器包装リサイクル法に基づき、財団法人容器包装リサイクル協会への委託料金(2000年度に集計した2001年度分)を下表の通り支払いました。「マイバッグキャンペーン」「簡易包装」などを推進し、包装材使用量削減に取り組んでいます。また、包装材に識別マークを表示しています。

容器包装リサイクル法に基づく委託金

2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
7,100万円	1億2,100万円	1億1,800万円	1億4,900万円

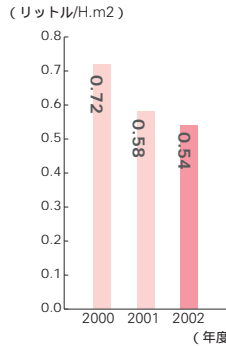


単位面積時間当たり電気使用量 (W/H.m2)



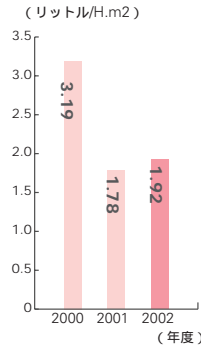
照明器具に省エネシステムを導入することで、一層の省エネを図りました。

単位面積時間当たり水道使用量 (リットル/H.m2)



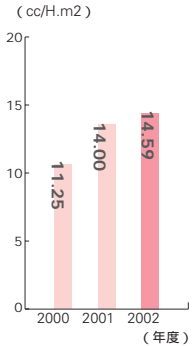
節水システムを導入することで水道の使用量を削減しました。

単位面積時間当たりガス使用量 (リットル/H.m2)



新店舗から自家発電に切り替えたことにより、ガスと石油の使用量は増加しましたが、その分電気使用量は削減できました。

単位面積時間当たり石油使用量 (cc/H.m2)



「環境レポート2002」までは炭素換算値で示しておりましたが、本レポートより二酸化炭素換算値で示しております。

2002年からほとんどの店舗で営業日を増やし営業時間を延長しているため、使用量が増加したと考えられます。

従業員への環境教育を推進しています

新入社員や新店舗開設時の研修、また社内報などを利用し、従業員の環境教育を進めています。

新店舗開設時教育

新店舗開店前には勉強会を開き、全従業員に環境教育指導を徹底しています。



勉強会の様子



テナントに対しても環境教育を実施

社内規定

社内規定をまとめたポケットガイドに、環境の基礎知識をまとめました。



社内規定



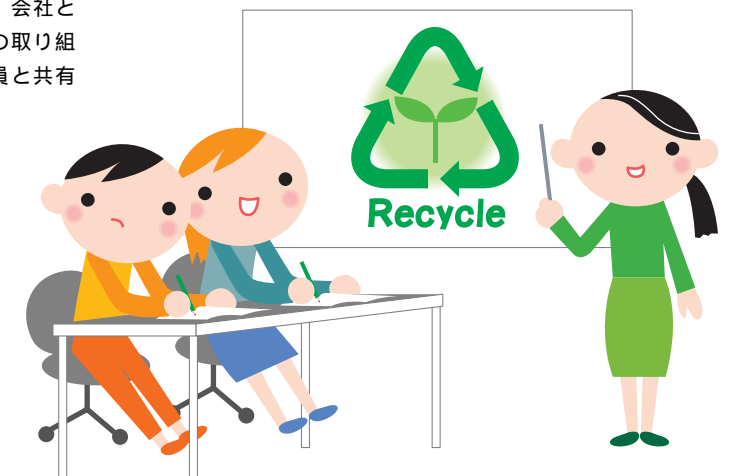
従業員マニュアルに環境のページも加えました。

社内報での情報の共有

社内報では店舗での取り組みを紹介し、従業員の環境意識を高めています。



社内報に「環境の欄」を設け、会社としての取り組みや、各店舗での取り組み、成果などの情報を全従業員と共有化しています。



全てのお客様が利用しやすい店づくりが基本です

～ユニバーサルデザインの採用～

店舗には年齢や性別、障害の有無などに関わらず、全ての方が快適に過ごすためのデザイン“ユニバーサルデザイン”を採用しています。どなたでも通りやすい広い通路や、お子様がケガをしないソフトな遊具など、店内各所にさまざまな工夫をしています。また、設備を整えるだけでなく、快適にお買い物をしていただけるように、従業員も積極的にお手伝いをいたします。

1 優先トイレの設置
車椅子でご利用いただけるトイレです。また、妊婦の方やお年を召した方もご利用いただけます。

危険防止の工夫
危険防止のために、店内の階段には手すりを付け、足元に誘導ブロックを設置しました。

8 ベビー休憩室
お子様の授乳やおしめ替えにご利用いただけるベビー休憩室を設けました。

9 小さなお子様の遊び場
小さなお子様に、安全に遊んでいただけるように、床や遊具にソフトな素材を使用しています。

10 自動販売機
車椅子のお客様にご利用いただきやすい飲料の自動販売機を設置しています。

11 車椅子の無料貸し出し
店内でご利用いただける車椅子をご用意しています。

12 優先エレベータ
混雑時などに車椅子の方が優先的にご利用いただけます。音声案内・点字表示をし、低い位置に操作ボタンを付けました。

13 介添えサービスの実施
1階各出入口にインターフォンを設置し、お呼び出しによって介添えサービスのご要望にお答えします。

2 男性用トイレにベビーシート設置
男性用トイレにもベビーシートを設置しました。

アピタのおいしい水
飲料やお料理に使用していただける、浄水機を設置しました。

4 段差のない入り口
駐車場と店内の段差をなくし、公道入り口から各玄関まで誘導ブロックを敷きました。

5 車椅子専用駐車場
入り口の近くに、車椅子専用駐車場を設置しました。

6 ハートビル法認定
ハートビル法に認定されました。全てのお客様に快適にご利用いただける店づくりに取り組んでいます。

7 小さなお子様の遊び場
小さなお子様に、安全に遊んでいただけるように、床や遊具にソフトな素材を使用しています。

8 自動販売機
車椅子のお客様にご利用いただきやすい飲料の自動販売機を設置しています。

9 車椅子の無料貸し出し
店内でご利用いただける車椅子をご用意しています。

10 優先エレベータ
混雑時などに車椅子の方が優先的にご利用いただけます。音声案内・点字表示をし、低い位置に操作ボタンを付けました。

11 介添えサービスの実施
1階各出入口にインターフォンを設置し、お呼び出しによって介添えサービスのご要望にお答えします。



アピタ東海荒尾店

ハートビル法
「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律」の略称。病院・劇場・ショッピングセンター等不特定多数の人が利用する政令で定める建築物に、お年寄りや障害を持った方が利用しやすいよう、いくつかの基準が設定されており、基準を満たした建物がハートビル法として認定されます。
(2003年4月現在43店舗)

ユニバーサルの取り組みをお伝えします。

アピタ新守山店の取り組みを紹介します

リピーターの多さにびっくりしています



サービスカウンター担当 山本多紀子

私はまだ昨年の秋に入社したばかりですが、マイバッグキャンペーンへの反響には驚いています。スタンプカードが終了したお客様に、オリジナルバッグやお買物券を差し上げているのですが、リピーターの方が結構いらっしゃいます。スタンプカードをお持ちになる方の年齢も30代~70代と、とても幅広いようです。これからも、お客様にはお友達やお子様などにも呼びかけていただき、多くの方に参加していただきたいと思っています。



もっとわかりやすいリサイクルボックスを

設備担当 田口安博

私はお店の設備担当として、店頭のリサイクルボックスや店内のリサイクル処理機の管理をしています。多くのお客様がリサイクルボックスをご利用されていて嬉しいのですが、ルール通りキャップを外し、ラベルを取り、中を洗ってつぶして出してくださいる方ばかりではありません。これは私どもの配慮が足りない部分もあるかと思しますので、リサイクルボックスの表示（捨て方など）をもっとわかりやすくしたり、口頭でお客様にご説明したりすることも必要だと思っています。



新守山店1年間の取り組み

5~6月	マイバッグキャンペーン
8月	環境学習 エコロお店探検隊
10月	環境展
10~11月	マイバッグキャンペーン
1~2月	3県1市グリーン購入キャンペーン

(2002年度実績)



地域の方々と力をあわせています

アピタ新守山店 店長 平松達夫

当店は2000年10月に開店して以来、地域のお客様と一緒に環境保全活動に励んできました。特に食品残渣（生ゴミ）は堆肥としてリサイクルできるので、異物（プラスチックや紙など）が混じってはいけないと、開店前から全従業員に「分別」を徹底しました。これは、日頃の仕事の中で、いかに一人ひとりが環境保全に関して意識を高め続けられるかという試金石でもありました。そのほか、包装資材などお客様に持って帰っていただくとゴミになる物はできるだけ減らしたり、リサイクルボックスを効果的に使い、ご家庭から出るゴミの削減にも努めています。今後も「健康・環境」について、地域のお客様とパートナーシップを組んで推進していきたいと考えています。



これからもお客様と一緒に。
笑顔の明日を。

社会貢献に努めています

地域の皆様に支えられて、まち全体の環境活動にも積極的に参加しています。清掃活動、懇談会、バザー、募金などを通して、社会貢献に努めています。

地域密着型の幅広い環境活動

環境保護を進めながら社会貢献も行っているユニーでは、他にもさまざまな活動を行っています。現在の環境活動をボードやポスターにして展示する「アビタ環境展」、資源ゴミのリサイクル商品を販売する「リサイクルバザー」など多彩です。

環境展

ユニーが行っているリサイクル活動や省エネ・省資源などの活動をボード、ポスターでお知らせしています。



リサイクルバザー

なごや消費者団体連絡協議会のボランティアの皆さんと一っしょに、家庭に眠っている不要品を一般の方からお預かりし、バザーで販売しています。1993年より毎年開催しています。



消費生活懇談会

各地域の消費生活懇談会に近隣店舗の店長が参加し、地域の皆様との意見交換を通じて、より良い消費生活の実現に取り組んでいます。



美しいまちづくりのお手伝い

小売業の環境対策には地域の皆様のご協力とご理解が大切です。ユニーは地域に密着しながら、環境活動に積極的に参加しています。

地域の清掃活動

地域社会の一員として、ユニーは自店や事業所周辺の清掃活動にも積極的に参加しています。

(写真：5月30日の「ゴミ0の日」の清掃風景。)



ゼロ ゴミ0会

ユニー本社がある愛知県稲沢市では、市と市民・事業者が一体となって「ゴミ0会」を結成し、地域のゴミ削減に取り組んでいます。



子供図書館

「より身近な場所で、子供たちが気軽に良書と出あえれば」というコンセプトで現在は4店舗の店内に設置した図書館です。蔵書は1館あたり約1.5万~2万冊で、各館とも専門の司書が運営にあたっています。2002年度の貸し出し実績は30万冊になりました。



愛の募金箱

ユニー・アビタ・生活創庫・ユーホームの各店と本部に「愛の募金箱」を設置し、お客様、お取引先、従業員の善意の輪で、皆様の財布の中で眠っている1円玉などを募金していただいております。

集まった募金は毎年、地域の福祉団体などへ寄贈しております。

2002.2.21 ~ 2003.2.20

6,216,954円

関東本部	1,577,794 円
静岡本部	412,874 円
中部本部	3,641,714 円
北陸本部	584,572 円



愛の難民衣料救援キャンペーン

日本救援衣料センター主催のキャンペーンを、1988年から毎年名古屋市内のサンテラス千代田橋店で開催しています。2002年は約850名の方が参加され、各ご家庭から衣料をお持ちいただきました。そして約45t (5tトラック9台分)の衣料をアジア・アフリカに送りました。



年度	来客数	総量
2000年	約1,000人	約50t
2001年	約700人	約35t
2002年	約850人	約45t

2001年度より従来の2日間から1日の開催となりました。

これからもお客様と一緒に。笑顔の明日を。



自然との調和を大切に

「未来の子供達に美しい自然を残したい」
ユニーは環境に優しい生活をエコフレンドリーマークと一緒に進めていきます。

ユニー株式会社



ユニー株式会社 環境部

愛知県稲沢市天池五反田町1番地

TEL.0587-24-8093 FAX.0587-24-8034 <http://www.uny.co.jp>

